

保健師として就職	1名
他病院就職	14名
その他	0名

(3) 大学院

1. 医学研究科博士課程

平成19年度より大学院改革を実施し、以後大学院の改善充実化を図るため種々検討を重ね、平成28年度は以下のとおり実施した。

1) 研究助成制度の運営

平成22年度の経常費補助金特別補助の大幅な見直しにより、大学院生に対する大学院研究助成金と大学院教員に対する医学研究科研究推進費の助成制度が廃止された。本学では研究の充実化と活性化を堅持するため平成28年度は以下のとおりとなった。

① 大学院研究助成金

- ・平成28年度採択件数：18件

② 医学研究科研究推進費

- ・平成28年度採択件数：新規2件、継続2件

③ 萌芽的共同研究推進費

- ・平成28年度採択件数：新規5件

2) がん治療医療人養成コース

高度ながん医療を実施できる国際的な視野をもったがん専門医を養成するため、社会人大学院生を対象とした「がん治療医療人養成コース」を既存の悪性腫瘍治療学の授業細目に組み入れて募集を行った。志願者：0名

3) カリキュラム内容の検証

- ・大学院にMD-PhDコースを導入するため、目的、コース名称、単位互換、入学資格、授業料、奨学金、研究費、広報等の検討が行われ、平成30年度より導入することとなった。
- ・大学院医学研究科博士課程の3ポリシーに、「国立がん研究センターとの連携大学院」と「MD-PhDコース」を追記し、ホームページに情報公開した。
- ・大学院（博士課程）共通カリキュラムの検証を行い、以下の内容を平成29年度に導入することとなった。

① 「医の倫理」のコマ数を7コマから8コマに増やし、研究費の取扱い等の講義を取り入れる。また、講義は倫理委員会講習会との合同開催であることから、出席状況の整合性を図るため、授業開始から30分以降の遅刻は欠席とすることとした。加えて、大学院生の理解力を図るため、テストまたはリアクションペーパー等を実施する。

② 「英語論文の書き方」を選択科目に新設し、慶応義塾大学の三宅力先生を招聘して講義することとなり、平成29年度共通カリキュラムのシラバスを作成した。

4) 大学基準協会認証評価受審

- ・大学基準協会認証評価実地調査が平成28年10月3日（月）、4日（火）に行われ、大学基準に適合されていることが認定された。なお、認定期間は、平成29年4月1日～平成36年3月31日迄である。

5) 国立がん研究センターとの連携大学院設置

- ・東京慈恵会医科大学大学院医学研究科における連携大学院に関する規程を制定し、平成28年4月1日より施行した。
- ・連携大学院教授として、分子腫瘍学4名、包括がん医学3名、計7名を任用した。

平成29年度の大学院（博士課程）入試は2回実施し、1回目は平成28年10月1日（土）に、2回目は平成29年1月28日（土）に実施した。その結果、42名（うち社会人8名）が合格した。本学の大学院生は本学の各講座、総合医科学研究センターのみならず、国立がん研究センター、国立成育医療センター、日本医科大学、東海大学、早稲田大学、横浜市立大学、